

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用が不十分である。家族への説明、提示が出来ていない。	権利擁護に関する研修を実施。職員の制度の理解を深める。家族に対しては、権利擁護に関する制度についての説明を行う。	①グループホーム会議の中での研修 ②資料配布による制度の確認と理解 ③家族への状況報告の中での資料の配布	12ヶ月
2	28	介護計画とモニタリングをチームで行う。	認知症高齢者の理解を深めていくために、「ひもとき」「センター方式」を活用。職員全員の意見を集約。利用者・家族の意向・希望の確認ができることで、その人の思いを実現できる。また、活動的な1日が過ごせるようになる。	①担当だけではなく職員全員参加のアセスメントを行う「ひもとき」の活用。「センター方式」は必ず活用(新任職員には研修) ②担当職員が情報を集約 ③徹底した介護計画実施 ④モニタリング	12ヶ月